

2025年度
特待生入学試験問題

家庭基礎

注 意

- 1 監督者の「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 試験時間は、板書されている時間割のとおりです。
- 3 問題用紙とは別に、解答用紙が1枚あります。
- 4 監督者の「始め」の合図があったら、すぐに受験番号と氏名を解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- 5 答えは、必ず解答用紙の決められた欄に書き入れなさい。
- 6 試験中に質問があれば、手をあげて監督者に聞きなさい。
- 7 監督者の「やめ」の合図があったら、すぐやめて、鉛筆をおきなさい。

特待生入学試験問題

1 世帯の種類について、次の文中の①～④に当てはまる語句を答えなさい。

世帯の種類で、1人だけの世帯は（①）世帯である。親族のみの世帯は、結婚や（②）などの関係のある人を中心構成されている世帯で、夫婦のみや、夫婦と未婚の子どもからなる（③）家族世帯や、（③）家族世帯に夫婦の親が加わった（④）家族世帯を含む。

2 子どもの遊びの種類について、次の（1）～（3）に当てはまる遊びの名称を語群から選び、記号で答えなさい。

- (1) 他の子どもの遊びをそばで見る
- (2) 乳児が知覚能力や身体を使って遊ぶ
- (3) 隣同士で同じ遊びを別々にする

語群	ア. 傍観遊び	イ. 平行遊び	ウ. ひとり遊び
----	---------	---------	----------

3 子どもの被服の選び方について、次の（1）～（3）の説明で正しいものには○を、誤っているものには×を記入しなさい。

- (1) ズボンは下がらないよう腹部を締め付けるものがよい。
- (2) ポケットはない方がよい。
- (3) 衣服は大きさにゆとりがある方がよい。

4 これからの保育環境について、答えなさい。

(1) 次の（ ）に当てはまる施設名を答えなさい。

集団保育の代表的なものとして、保育所・（ ）・幼稚園がある。

(2) 次の文中の①、②に当てはまる数字を答えなさい。

保育所の対象年齢は（①）歳～就学前、幼稚園の対象年齢は満（②）歳～就学前までである。

(3) 保育所に入所したくてもできない子どものことを何というか。

5 介護保険制度について、次の中から正しいものを3つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 2000年に導入され、45歳以上の国民が保険料を支払う。
- イ. 介護保険制度を利用する場合、介護保険被保険者証を添えて市区町村に申請する。
- ウ. 介護支援専門員（ケアマネージャー）が要介護度の判定を行い、訪問調査員が介護サービス計画を立てる。
- エ. 2005年の改正で、地域包括支援センターが創設された。
- オ. 利用者はケアプランに応じて、市区町村のサービスのみを受ける。
- カ. 自己負担額は、給付額の範囲内であれば介護サービスの費用の1～3割である。

6 次の説明文にあてはまる介護保険サービス名を答えなさい。

- (1) 認知症の要介護者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、共同生活を行う住居で、入浴、排泄、食事等の世話や機能訓練を行う。
- (2) 介護施設で短期間の宿泊を伴う介護を行う。

7 食品の栄養や特徴について、正しいものを選び、記号で答えなさい。

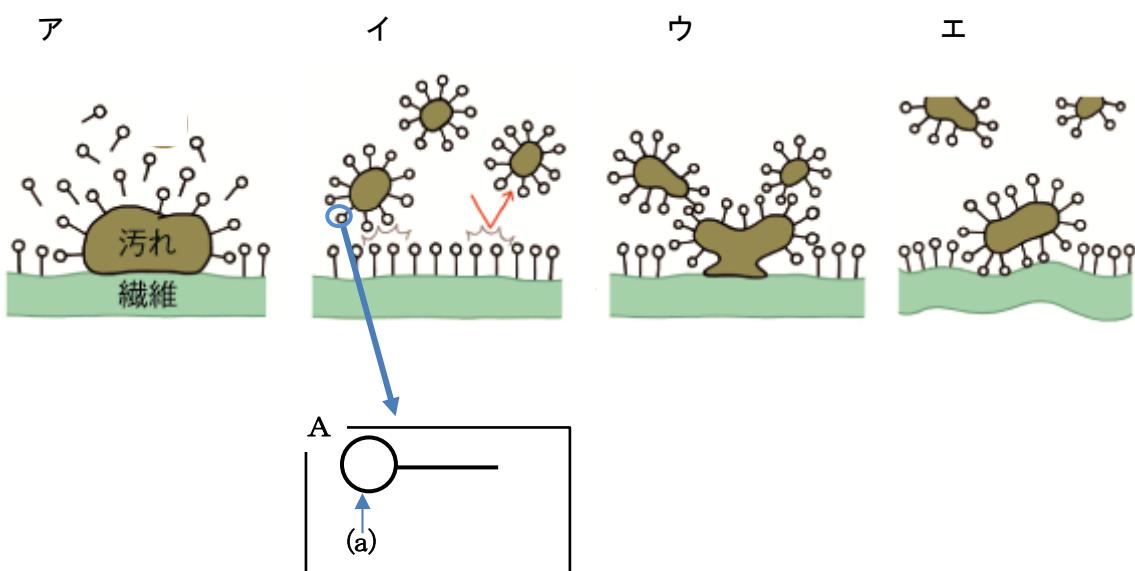
- (1) 脂肪酸の構造で、分子内に二重結合を持つのは (A : 飽和脂肪酸 B : 不飽和脂肪酸) である。
- (2) アミノ酸価が高いのは (A : 米 B : 豚肉) である。
- (3) たんぱく質含有量の多いのは (A : 中力粉 B : 薄力粉) である。
- (4) うるち米に多く含まれているのは (A : アミロペクチン B : アミロース) である。
- (5) 植物油や魚の油に多く含まれるリノール酸やDHAは (A : 一価不飽和脂肪酸 B : 多価不飽和脂肪酸) である。

8 食生活の変化について、次の文中の①～③に当てはまる語句を語群から選び、記号で答えなさい。

日本人の食の変化を見ると、経済の発展や国民総所得の増加に伴って、食品では、(①) と野菜の摂取量が減り、(②) や乳製品を中心とする動物性食品や (③) の摂取量が増加した。

語群	ア. 米 イ. 小麦 ウ. 肉類 エ. いも類 オ. 油脂類
----	--------------------------------

9 洗濯用洗剤について、下図の汚れの落ちる仕組みを見ながら、次の問い合わせに答えなさい。



- (1) 汚れの落ちる順について、3番目に当てはまるのはどれか記号で答えなさい。

- (2) 洗剤の主成分であるAを何というか。
(3) aの名称を答えなさい。

10 被服材料とその取扱いについて、正しいものを選び、記号で答えなさい。

- (1) (A:吸湿性 B:透湿性) は水蒸気を吸着する性能で、繊維の水分率に影響される。
(2) (A:防縮加工 B:シルケット加工) は光沢を付与する加工である。

- (3) 繊維製品の取り扱い表示の  は、タンブル ① (A:脱水 B:乾燥) 可。
② (A:高温 B:低温) 乾燥、排気温度上限 ③ (A: 40 B: 60) °C
を表している。

11 住生活について、次の問い合わせに答えなさい。

- (1) 住居の換気方法は2種類ある。それぞれの名称を答えなさい。
① 窓を開けて風を通す換気
② 換気扇を回して空気の流れを作る換気

- (2) 次の () に当てはまる語句を答えなさい。

現代の住居は窓枠の性能向上により、() 性が高まり冷暖房効率が改善された。

- (3) 100年以上の長期耐久性を持ち、住み手のライフスタイルやライフステージの変化に応じて作り変えることが可能な方式を何というか。語群から選び記号で答えなさい。

語群	ア. スチール・アウトプット方式 ウ. インフィル・テクニカル方式	イ. ロングライフ・ホーム方式 エ. スケルトン・インフィル方式
----	--------------------------------------	-------------------------------------

- (4) 住居や建物を壊すと出るごみの名称を答えなさい。
(5) 血縁や婚姻などの関係性がない者どうしが同居することを何というか。
シェア・ハウジング以外の名称をひとつ答えなさい。

1 2 経済生活について、次の問い合わせに答えなさい。

- (1) 商品やその原料の生産まで意識し、人や社会、環境、地域に配慮して作られた商品を選ぶことを何というか。
- (2) 情報通信の高度化に対応し、氾濫する情報の中から必要な情報を理解・選択・発信できる能力を何というか。
- (3) 次の説明と関わりの深いものを語群から選び、記号で答えなさい。
- ① 國際的な標準規格を策定するための民間の非政府組織。国際標準化機構。
 - ② 開発途上国の生産者と適正な価格で取引をすること。
 - ③ 原料の生産から商品の生産、販売、廃棄までの全ての段階で、環境に与える影響を評価し、事業者も消費者も環境負荷の低減を目指そうとする考え方。
 - ④ 個人で物を所有せずに共同利用すること

語群	ア. ライフサイクルアセスメント ウ. シェアリング・エコノミー	イ. ISO エ. フェアトレード
----	-------------------------------------	----------------------

1 3 消費者問題について、次の問い合わせに答えなさい。

- (1) 消費者行政をひとまとめに所管する省庁の名称を答えなさい。
- (2) 一度契約した後で解約したくなった場合に、契約を白紙状態に戻すことができる消費者保護の制度の名称をカタカナで答えなさい。
- (3) (2) による解約の方法について、正しいものを全て選び、記号で答えなさい。
- ア. 電話で解約の意思を伝えるだけでよい。
 - イ. 解約の理由が必要である。
 - ウ. 解約は必ず書面で行い、コピーしたものを保管しておくとよい。
 - エ. 解約の書面の送付方法は、簡易書留か特定記録郵便にする。
 - オ. どんな場合でも適用される制度なので、契約した場所や商品、行使期間などの条件を確認する必要はない。

2025年度 特待生入学試験
家庭基礎 模範解答

受験番号		得点	
氏名			

1	① 単独	② 血縁	③ 核	④ 拡大	
2	(1) ア	(2) ウ	(3) イ		
3	(1) ×	(2) ×	(3) ○		
4	(1) 認定こども園	(2) ① 〇	② 3		
	(3) 待機児童 or 保育待機児童				
5	イ	エ	力		
6	(1) グループホーム (認知症対応型共同生活介護)	(2) ショートステイ (短期入所生活介護)			
7	(1) B	(2) B	(3) A	(4) A	(5) B
8	① ア	② ウ	③ オ		
9	(1) エ	(2) 界面活性剤	(3) 親水基		
10	(1) A	(2) B	(3) ① B	(2) B	(3) B
11	(1) ① 自然換気	(2) 機械換気			
	(2) 気密	(3) エ			
	(4) 建設廃棄物	(5) グループリビング or グループ・リビング			
12	(1) エシカル消費	(2) 情報リテラシー			
	(3) ① イ	(2) エ	(3) ア	(4) ウ	
13	(1) 消費者庁	(2) クーリングオフ or クーリング・オフ	(3) ウ・エ (完答)		

2025 年度 特待生入試 家庭基礎

1. 出題の意図

保育や幼児教育に必要とされる基礎学力や、人間が生活することに关心を持ち、自己や他者の自立した生活に必要な基礎的な知識を身につけているかの認知度を問うために、①世帯・子どもの生活、②福祉、③食生活、④被服生活、⑤住生活、及び⑥消費・経済に関する問題を作成した。設問内容は、日頃の学習・勉学の成果やそれに基づく生活行動ができているかを評価できるように、選択式と記述式を織り交ぜた。

2. 解答(解答例)

前ページ参照